

は し が き

令和4年度の県税収入額は約1,291億円と、前年度と比べて約7億円減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響もある中で、製造業を中心に法人事業税が増加したものの、個人県民税において、前年度と比べて株価が低く推移した影響などにより株式等譲渡所得割が減少したためです。

本県では、県民の皆様の安全な暮らしを守り、経済を発展させていくため、「人生100年時代のフロンティア県」を目指し、安全・安心で住みたくなる香川をつくる「県民100万人計画」、活力に満ち挑戦できる香川をつくる「デジタル田園都市100計画」、多くの人が行き交い訪れたいくなる香川をつくる「にぎわい100計画」の三つの方針のもと、香川県の発展のための各種施策に積極的に取り組んでいるところですが、多岐にわたる施策を着実に推進するためには、貴重な自主財源である県税収入の安定確保が極めて重要となっています。

このため、「信頼される税務行政の推進」、「自主納税の促進」、「課税事務の適正な執行と税務手続のデジタル化」、「滞納整理の推進」等を税務事務運営方針として、税務職員一人ひとりがその責務の重要性を十分に自覚し、納税者の信頼と協力を得ながら、適正かつ公平な賦課徴収を推進することにより、納税秩序の確立と県税収入の確保に努めてまいります。

本書は、令和4年度の県税賦課徴収の実績及び関係資料を収録したものです。県税をはじめ県財政の実情についてさらに理解を深めていただく一助として、広く活用いただければ幸いです。

令和6年2月

香川県税務課長 黒川 憲哉